子育て支援センター

育児日誌　その186

「スキンシップ」

私は、１０年前、子育て支援センターの「コロボックルの会」に参加していました。

先日、その頃の「コロボックル日記」を読み返しました。タイムスリップしたような気分になり、一人でニヤニヤと幸せなひと時を過ごしました。

その中に、主人と幼かった息子達が相撲をとったエピソードがありました。大きな父親に、二人がかりで向かっていき、倒そうと泣き顔で頑張っていたのを思い出しました。

主人にその頃の話をすると、父親になってまだ数年のあの頃、子ども達とどう関わりを持っていこうかと自分なりに考えていたようで、息子達に強くなって欲しいという思いから、相撲をとっていたと話してくれました。

母親の私は、少し荒々しいスキンシップにけがをしないかハラハラしたり、少し手加減してあげたらいいのにと思っていました。

しかし、今となっては、幼い頃に体当たりで父親の強さを感じさせていて良かったと思います。

現在、中学２年生と小学６年生になった息子達ですが、父親に「ちょっとおいで。」とぎゅーと抱きしめられ、照れながらも嬉しそうな表情を見せてくれます。主人は「大きくなったな～」と成長をかみしめているようです。

男同士、１０年前の相撲でのスキンシップがあったから、今でも通じ合うものがあるのかなと思います。

今勝負したら、どちらが勝つかなとふと思う今日この頃です。